

あこう

社協だより



『岩場の遊歩道』

「カメノテ」も見える御崎の遊歩道です。

6月には赤穂観光協会が、8月には御崎小学校児童、PTAが約600名参加し美化活動を37年間続けられています。心こもる活動に敬意を表し、描きました。

(広報委員長 村下)

特集

今の赤穂・これからの赤穂

一緒に考えませんか?..... 2 P

在宅生活を支える社協の福祉サービス

～友愛訪問事業～..... 4 P

おもちゃライブラリー&おもちゃ病院のご案内・サロン紹介... 5 P

福祉協力校育成事業の取り組み..... 6 P

あこう福祉ニュース..... 7 P

支えあい 助けあう
こころつながる
やさしいまち あこう

今の赤穂・これからの赤穂 一緒に考えませんか？



住民座談会は地区の 現状把握のため

住民座談会では、生活上の課題や困りごと、将来への不安などを考え、ニーズの把握を行います。そして、見えてきたニーズについて、地域、社協、行政のどの力が必要かを整理していくこと、また協働によって課題の解決に向けて取り組む方法などを考えていきます。

あらためて地域の現状を把握することはとても大切なことです。

ニーズの解決に 向けて

大きなニーズや緊急性のあるものは、仕組みやサービスをつくることや、既存事業の改善を行うなどの対応を検討していきます。

また、地域で対応すべき課題の解決は、地域の実情に応じて地域の皆さんと社協が一緒に解決策を考えていきます。



地域からの声をまとめた 地域福祉推進計画

社協では、平成25年3月に「赤穂市社会福祉協議会地域福祉推進計画」を策定し、平成25年度より計画に基づいた事業を進めています。この計画の策定にあたっては、市内9地区で座談会を実施し、地域ごとの課題、困りごとの整理を行いました。その課題、困りごとの解決のための取り組みをご紹介します。

課題

①

買い物や通院等、生活するのに困っている



パートナーサービスモデル事業により、近隣住民で相互にカバーし合える関係づくりを地域で進めています。

今後も引き続き、事業の浸透に努めていくとともに、パートナーサービス未実施地域の方々の課題解決に向けて検討・研究を行っています。

課題

2

地域に子ども（若者）が少なくなっている

未婚の男女の出会いの場を提供するとともに、赤穂に定住していただくことを目標に、出会いの広場事業を実施しています。

今年度は2回実施する予定で、1回目は6月28日に開催しました。

課題

3

近所同士の交流が少ない

ふれあいいきいきサロンの実施により、近くの集会所に気軽に住民が集まり、交流・情報交換を行うことができます。市内には現在34ヶ所のサロンがあり、月1回を基本に地域の集会所で開催されています。

また、高齢者と子ども、親など三世代が交流する事業を支援する「三世代交流事業」を今年度新たに実施し、地域内での交流機会の拡大に努めています。

社協では、こうした地域から出た課題に対し、「自助・共助・公助」に区別しながら、それを解決する方法を地域の方々と一緒に考えて、必要に応じた事業を展開していきます。

どうやって地域活動をしていこうかな…？

まずは研修会をしませんか？

- ・パートナーサービスモデル事業
- ・ふれあいいきいきサロン活動
- ・地域の支えあいマップづくり 等

研修会は時間、人数の決まりはありません。テーマも、社協からご提案します。

平成26年度実績（8月10日現在）

- ・ 4月12日 福浦新田自治会（社協の事業紹介）
- ・ 4月23日 城西地区民生委員児童委員協議会（同上）
- ・ 4月25日 上飯屋たすけあいサロン（パートナーサービス世話人会）
- ・ 4月27日 いきいきサロンしおかぜ（福祉についての研修）
- ・ 4月28日 たすけあい「横尾」（パートナーサービス検討会）
- ・ 5月3日 木生谷自治会（パートナーサービスについて）
- ・ 5月24日 駅東自治会パートナーサービス（パートナーサービス説明会）
- ・ 6月8日 たすけあい「横尾」（パートナーサービス検討会）
- ・ 6月21日 檜原自治会（社協の概要・事業紹介）
- // 折方自治会（小地域福祉活動について）
- ・ 6月22日 下町自治会（社協の概要・事業紹介）
- // 駅東自治会パートナーサービス（パートナーサービス検討会）
- ・ 6月27日 上飯屋たすけあいサロン（パートナーサービス世話人会）
- ・ 7月24・25日 塩屋東自治会（人権学習・小地域福祉活動について）
- ・ 7月25日 上飯屋たすけあいサロン（パートナーサービス世話人会）
- ・ 7月31日 新町自治会（要援護者マップづくり）
- ・ 8月1日 福浦本町福浦新田自治会（社協の概要・事業紹介）
- ・ 8月4日 鶴和自治会（地域福祉について）
- ・ 8月5日 天神山自治会（小地域福祉活動について）
- ・ 8月9日 千種自治会（同上）
- // 宮原自治会（同上）



ご相談はお気軽に！

赤穂市社会福祉協議会

TEL：42-1397

在宅生活を支える 社協の福祉サービス

～友愛訪問事業～

4



◎地域で支える見守り活動

友愛訪問事業は、市内に居住しているひとり暮らし老人及び高齢者世帯等を対象として、住みなれた地域で安心して暮らせるように、安否の確認やお話し相手等孤独感の解消を図ることを目的として実施しています。

今年度は2,335名（5月末現在）を対象に、市内9地区に分かれ、地域福祉推進連絡会等の協力のもとで実施されています。

市内の高齢化率が28.2%（6月末現在）となり、「こんにちは。お変わりないですか？」とあいさつや会話を通した高齢者の見守り活動がますます大切になってきています。

今回は2つの地区をご紹介します！

西部地区

高齢化率
40.7%
(6月末現在)

民生委員として、西部地区委員長を務められている中道昭之さん（写真左）。「折方地区は昔ながらの家が多く、高齢化が進んでいるので、月一回程度の活動が大切と考えています」と話してくださいました。

今回は、これからの暑い季節に向けて、そうめんとめんつゆを配って回りました。



訪問先のご夫婦は、「いつも気にかけてもらって安心して生活できています。隣近所の人とも関係がよく、お互いに支えあっています」と話してくださいました。



尾崎地区

高齢化率
27.7%
(6月末現在)



「ここ数日、夜に電気がついているので気になっていました。つばめのヒナのために電気をつけていたことを知り、安心しました」と推進委員の矢野登美子さん（写真右）。

訪問先の女性も、「いつも気にかけてくれて嬉しいです」と話してくださいました。

「暑くなってきましたから、こまめに水分補給をして、熱中症には十分お気を付けくださいね」と一言添えて、そうめんやひやむぎを配って回りました。



(お問合せ) 赤穂市社会福祉協議会 (☎42-1397) まで

わくわくどきどき！楽しいおもちゃがたくさん♪

～おもちゃライブラリー&おもちゃ病院のご案内～



おもちゃライブラリー

おもちゃライブラリーでは、0歳から遊べる楽しいおもちゃを多数用意しています。開設日に是非遊びに来てください♪

※おもちゃの貸し出しも無料で行っています。

☆開設日☆ 毎月 第2木曜日 午前10時～正午
第4土曜日 午後1時30分～3時30分
※8月14日、12月27日、1月8日はお休みです

また、11月22日、12月11日はおもちゃの貸し出しはできません

☆場 所☆ 福社会館 1階教養娯楽室



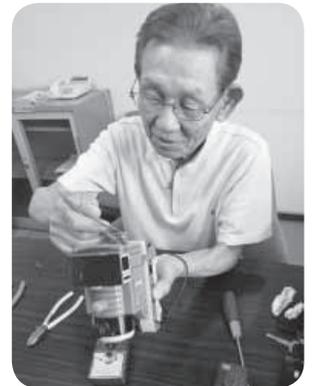
おもちゃ病院

おもちゃ病院では、「ものを大切に作る心を育んでもらいたい」との思いを込めてボランティアの協力のもと子どもの大切なおもちゃを修理しています。

☆開設日☆ 毎月 第2木曜日 午前10時～11時（修理受付のみ）
第4土曜日 午後1時～2時（受付・修理）
※8月14日、12月27日、1月8日はお休みです

☆場 所☆ 福社会館 1階健康相談室

☆費 用☆ 無料（一部部品代を頂くこともあります）



上高谷喜楽会

サロン紹介

いきいき サロン南宮

7月25日、同地区内の田原さんを講師に招いて、竹笛と竹とんぼ、七夕の笹飾りづくりが行われました。毎年7月と8月は夏休みということもあり、いつものメンバーに子どもたちも加わってサロンが開催されています。



参加者は「子どもたちが来てくれるのにぎやかになっていいなあ」と話していました。



出来上がった竹とんぼを持って外へ飛び出したり、竹笛の音色を楽しみながら参加者は交流を深めました。また、坂越保育所の子どもと一緒に七夕飾りを大きな笹3本に飾り付け、短冊に願いを込めました。

初めて参加した親は「とても楽しかった。また来ます」と話していました。

上高谷喜楽会

開催日：毎月第4金曜日 午前10時～
場 所：上高谷集会所

7月26日、笹飾りや季節の切り絵、押し花で作られた花火の絵が飾られた南宮町集会所に参加者が集い、いきいきサロン南宮が開催されました。

この日は、ハンドベルやギターの演奏にのせてみんなで合唱し、その後おしゃべり喫茶で交流しました。

参加者の中には地区を超えて参加している方もおられ「ここに来るのが楽しみ」「ここに来たら足が痛いのも忘れられる」と話していました。サロンの世話人も「自分たちも楽しんでやっている。喫茶に出しているコーヒーにもこだわっています」とのこと。みんなで楽しんでサロンを開催しています。



いきいきサロン南宮

開催日：毎月第2・第4土曜日 午前9時30分～
場 所：南宮町集会所

福祉協力校指定事業の取り組み

社協では、子どもたちの福祉・ボランティアへの理解と関心を高め、福祉の心を育てるため、市内16校を福祉協力校に指定し、各校と連携して事業を実施しています。

1学期では、多くの学校で活発な福祉教育が行われました。その一部をご紹介します。

5月22日 赤穂東中学校2年生

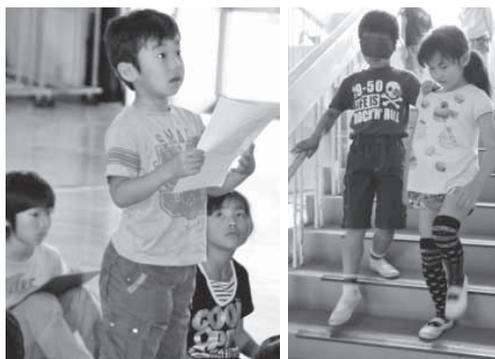
車いす体験は約5年ぶり、点字学習は初めての取り組みとなりました。

小学校の時に体験した生徒も多くいましたが、当事者の話に真剣に耳を傾けていました。

体験した生徒は、「これから自分たちが何を手伝えることができるのか考えていきたい」と話していました。



6月3日、9日 坂越小学校4年



2日間に分けてアイマスク体験と点字学習を行いました。

アイマスク体験では、班ごとに質問を考え、視覚障がい者の三宅さんに質問しました。

点字体験では、自分の名前を点字で打ち、視覚障がい者の目木さんに読んでもらいました。

(児童の感想文より)

●アイマスク体験を終えて

「アイマスクをつけてすごくこわかったです。けど友だちがいたので安心しました」

●点字体験を終えて

「とくにうれしかったのは、ぼくががんばってうった点字を目木さんがよんでくれたことです。目木さんとあつたらまた声をかけたいです」

6月20日 有年小学校全校



オープンスクールにあわせて全校児童と保護者が一緒になって学習を行いました。

学年ごとに「手話学習」「アイマスク体験」「点字体験」「高齢者疑似体験」「車いす体験」を行い、学びを深めました。児童からは「困っている人を見かけたら勇気を出して声をかけてみたい」といった感想が聞かれました。

善意の心を持ち寄って



6月7日、ハーモニーホール小ホールにて「赤穂市福祉のつどい」が開催され、約430名の方が参加しました。「つつじ賞・さくら賞・ふくしの人」の表彰や、上高谷喜楽会、城西小学校の実践発表の他、アナウンサーの三代澤康司氏による記念講演がありました。

「赤穂市福祉のつどい」は毎年善意月間の6月に開催しています。その財源には、市民の皆様から寄せられた善意銀行の預託金が充てられています。

地域活動っておもしろい！



6月19日・26日・7月4日の3日間、「おかえりなさいお父さん・いらっしゃいお母さん講座」を開催し、延65名の方が参加しました。仕事や子育てが一段落した方を対象に、時間やお金の使い方、コミュニケーション方法、現在地域で活動されている方のお話等、地域活動に参加するきっかけを学びました。

思い思いのマグカップ作り



7月19日、おもちゃライブラリーにて「ポーセラーツ教室」を開催し、42名が参加しました。申込開始の当日朝より多数のお電話をいただき、あっという間に定員に達する人気の教室となりました。当日はシールを貼り付けてオリジナルのマグカップをつくり、楽しみました。

まち発見！ あこう 福祉ニュース



香りが結ぶ大人の恋活



6月28日、「出会いの広場事業」を開催し、男女各20名が参加しました。昨年度初めて開催し、今回で2回目の開催となりました。前回に引き続き、募集人数を大きく上回る方々にご応募いただきました。当日は梅雨の晴れ間となり、赤穂御崎の絶景を前に、アロマポット作り等を行いながら、恋の芽が育まれました。

2年に一度の交流会



7月18日、朗読ボランティアグループ来夢と毎月の広報等の録音CDを利用しているリスナーとの交流会が行われ、合わせて29名が参加しました。

普段はなかなか交流の機会を持つことができないため、お互いの立場で情報交換を行い、その後レクリエーションを通して楽しい時間を過ごしました。

善意の心を車いすに変えて



7月22日、兵庫信用金庫様より、昨年に引き続き車いす2台が寄贈され、寄贈式が行われました。今回寄贈された車いすは、福祉用具貸与事業の備品に登録し、市民の皆さんへ無料で貸し出しを行い、活用させていただきます。

◆ 貸衣裳をご活用ください ◆

社協では、冠婚葬祭用の衣裳の貸し出しを行っています。
常時多数の衣裳を取りそろえ、皆さんのお越しをお待ちしております。

- 振袖も多数揃えています！
- 特注サイズの取り寄せも可能です！

(受付日時)

月～金曜日 午前9時～午後5時
第1・3土曜日 午前9時～正午
※日・祝日は休み

(場 所)

総合福祉会館2階 貸衣裳室



皆さまのやさしさと

温かい善意を『善意銀行』へ

赤穂市善意銀行には、供養やお見舞返しにかえて、福祉のために等、年間を通じて預託をお寄せいただいています。

善意銀行の預託金は、赤穂市の地域にあった福祉活動を推進していくために、なくてはならない財源です。

皆さまのご協力をお待ちしています。



赤穂市善意銀行マスコットキャラクター

～広報委員紹介～

社協では、毎月1回広報委員会を開催し、社協の広報活動について議論・検討を行っています。
広報委員は以下の方々です。(敬称略)

(任期：平成26年6月18日～平成28年6月17日)

委員長	村下 龍彦		
副委員長	浜野 好正	事務局	荒尾 慎平
委員	西側 禎男	〃	團 美智枝
	〃 古森智恵美(新任)	〃	福田 弥生

(退任) 多田 憲子

※長年にわたり委員として活動していただきました。ありがとうございました。

編集後記

梅雨が明け、本格的な夏がやってきました。子どもたちは夏休みに入り、遊びに勉強に励んでいるのでしょうか。

私は学生時代、夏休みに入ると毎日のように部活に行き、真っ黒に日焼けしていたことが思い出されます。

今回は友愛訪問に同行させていただき、取材を行いました。高齢化が進む中で、地域でお互いを見守っていくことの大切さを改めて感じる事ができました。
(広報委員会事務局 荒尾)

『ストップ・ザ・無縁社会』 全県キャンペーン展開中！

～『無縁社会』から『支え合い社会』へ～

※赤穂市社協は、兵庫県内の社協とともに、『支え合い社会』を目指します。



ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397

FAX 0791-45-2444

赤穂社会福祉協議会 検索

赤穂市社会福祉協議会で検索してください

